

H021 交絡調整の方法

後期 MPH 選択

授業日時:	火曜日 2 限
担当分野:	医療統計学
担当教員:	寒水孝司(科目責任者) 佐藤俊哉 森 和彦(先端医療振興財団)
教室:	G 棟 3F 演習室
主担当教員連絡先:	寒水孝司 G 棟 3F 医療統計学 内線 4482 e-mail: sozu.takashi.4s@kyoto-u.ac.jp
基礎・応用等レベル:	中級
先修・推奨科目等:	前期コア科目「医療統計学」を履修済みであること

I. コースの概要

- 交絡前期コア科目である「医療統計学」で学んだ医療統計学の考え方を実践するための、具体的な統計的方法について講義します。
- 疫学研究などの観察研究によって因果関係を調べる際、妨げとなる「交絡」を調整する方法として、層別解析、回帰モデル、生存時間解析などのデータ解析の方法を説明するとともに、データ解析を実施する上で必要となる「解析計画」、解析計画を立てる上で必須の「研究計画」についての留意点をとり上げます。
- 「医療統計学」よりもやや専門的な内容が増えますが、具体例を示しながら基本的な考え方を中心に講義します。
- 履修条件に注意してください。

II. 学習到達目標(このコース終了時までには習得が期待できること)

- 交絡について理解し、それを正しく説明できる
- 交絡調整における層別解析と回帰モデルの意義を理解する
- 層別解析と回帰モデルの利点・欠点を説明できる
- 研究計画書、解析計画書の重要性を説明できる

III. 教育・学習方法

パワーポイントスライドによる講義形式

IV. 学習資源

必須テキスト: 「医療統計学」配布資料

推奨テキスト: Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern Epidemiology, 3rd ed. PA: Lippincott Williams & Wilkins, 2008.

V. 学生に対する評価方法

3回のミニテスト

VI. その他メッセージ

人間健康科学系専攻学生の受講可否:可

予定・内容

第1回	10月7日	交絡の復習と標準化
第2回	10月14日	共通効果の推定
第3回	10月21日	平均値の比較
第4回	10月28日	サンプルサイズ設計, 第1回ミニテスト
第5回	11月4日	回帰モデル入門
第6回	11月11日	ロジスティック回帰
第7回	11月18日	生存時間解析 1
第8回	11月25日	生存時間解析 2
第9回	12月2日	欠測データの対処, 第2回ミニテスト
第10回	12月9日	研究計画書の作成
第11回	12月16日	医薬品の審査と市販後安全対策
第12回	1月6日	解析計画書の実際
第13回	1月13日	変数選択
第14回	1月20日	傾向スコアの利用, 第3回ミニテスト
第15回	1月27日	解析計画書作成 発表会 (ディスカッション)
